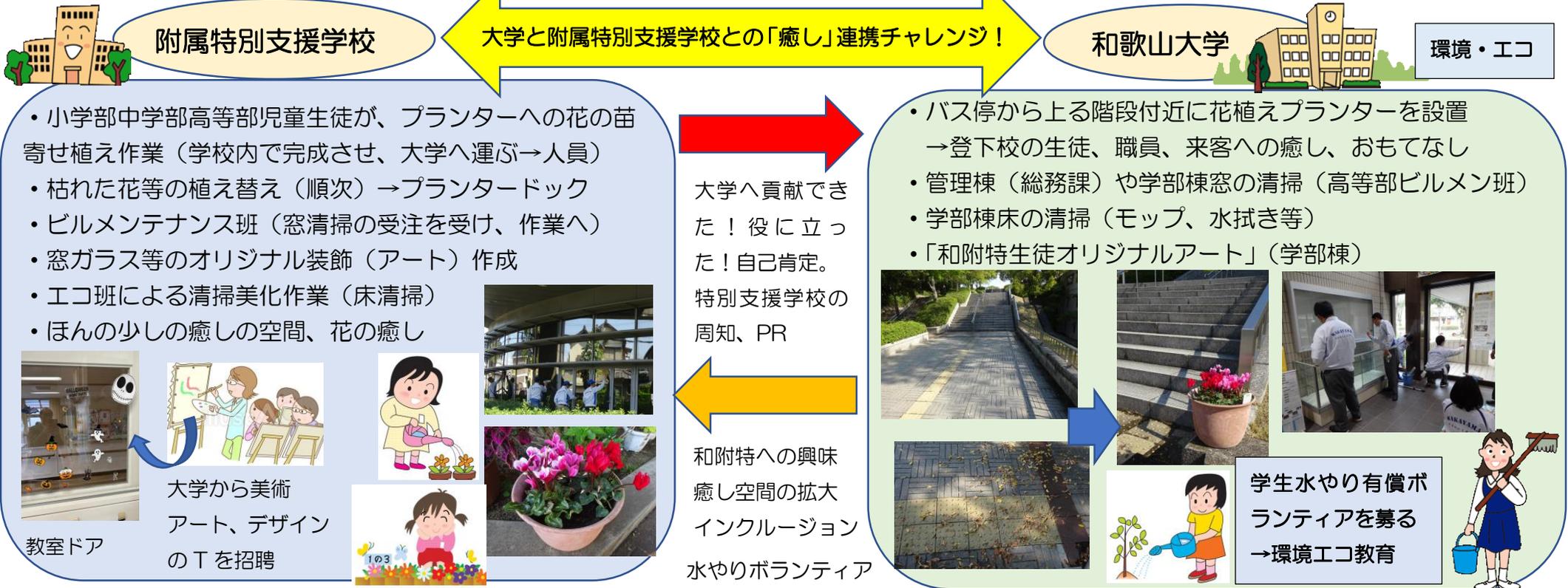


「和歌山大学を心なごむ・癒しの空間に」 附属特別支援学校プロジェクト

●ねらい

- 大学バス停から教室棟へ上がる階段付近にプランターの花を設置。また教育棟の窓・床清掃や、階段・ストリートの清掃、生徒の発想による窓アート等にチャレンジし、学生、教職員、来客への癒し、おもてなし、キャンパス美化、環境整備に貢献する。
- 特別支援学校児童生徒の実践活動を「見える化」し、大学生、教職員へのインクルーシブ、多様性、障害者理解啓発の発信機会とする。
- 附属特別支援学校の高等部生徒を中心に、キャリア学習（作業、職業）の実践活動として校内にて花植え学習、ビルメンテナンス作業を経て大学に赴き、「環境美化」、「癒し空間」「エコ活動」に貢献し、自己肯定感や自己有用感、あこがれ、感謝の気持ちを高める。

キャンパス環境整備プラン



本校は、地域に開かれた、地域に貢献できる特別支援学校を目指しています。そのために、日頃の学習において、和歌山の歴史、産物、遺産の学習を自主的に学び、和歌山・地域を「知る」ことから始めています。設置者である和歌山大学は附属学校として、教職員はもとより児童生徒、保護者も愛着が深く、貢献したい、役に立ちたい想いは強く抱いています。貢献することで喜んでもらい、自己有用感が上がり、「生きる力」につながります。大学にとっても、多様な児童生徒が在籍する特別支援学校との連携で「癒し」「美化」「インクルーシブ」「華やかさ」「ボランティア活動精神」につながるチャンスと捉えています。附属特別支援学校の活動の場を拡げ、学生有償ボランティアを募り、キャンパス環境整備とともに環境エコの意識を高めていく、全国稀なチャレンジです。